



NEDO事業 AR(Accompany Runner)

2023年4月

**国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）
イノベーション推進部**

〒212-8554 神奈川県川崎市幸区大宮町1310番ミューザ川崎セントラルタワー（総合受付16F）
TEL：044-520-5170 FAX：044-520-5177 E-mail：inv-caravan@nedo.go.jp

神谷 誠

国立大学法人筑波大学 准教授(アントレプレナーシップ教育)



製造業での製品開発・海外プロジェクト管理、経営コンサルファームでの新規事業立ち上げ・業務改革を経て、2021年1月より現職。

製造業では、三菱ロジスネクスト株式会社などにて、産業機械の自動運転(ワイヤ)の開発・プロジェクト管理などに従事。

経営コンサルファームでは、株式会社メディオクリタスにて、新規物流サービスの事業構想や開発プロセス改革に従事。

2012年、アリゾナ大学航空宇宙学科修士課程修了

2016年、東京大学エグゼクティブマネジメントプログラム修了

2020年、ソフトバンクアカデミア(孫正義後継者コミュニティ)入校

趣味の空手では、ラスベガスの国際大会にて優勝。また、NPO法人を立ち上げ、海外での武道教育の普及に尽力。

栗島 祐介

HAKOBUNE株式会社
代表取締役



早稲田大学商学部卒。

三菱UFJ投信株式会社を経て、2014年より株式会社VilingベンチャーパートナーズCEOとして教育領域特化型のシード投資を行うと同時にレガシー領域の起業家コミュニティ「StarBurst」を創設し日本最大級のスタートアップコミュニティにまで育成（Aperza・POL・CrunchStyle・インフォステラ・カミナシ・207など輩出）。

その後、2016年11月に起業家コミュニティをMBOLし、プロトスター株式会社を設立。国内最大級の起業家・投資家の情報検索サービスStartupListの立ち上げ・運営を行う傍ら、日本橋を世界に誇る大人起業家の街にすべくE.A.S.T.構想の旗振りも行う。2022年、シード期の起業家支援を行うHAKOBUNE株式会社を設立。

教育系VC時代の主な投資先はサイトビジット（freeeへEXIT）・アルクテラス（コクヨへEXIT）・スピークバディなど。過去、起業家ハウスよりGITAI・Progate・Taskey・STUDIO・PULITなど多数のスタートアップ輩出も行う。

小駒 皆子

株式会社マルチタスク・カンパニー
代表取締役社長兼CEO(1995年から現在)



頌栄女子学院英語短大卒業後、銀座ソニービルショールーム勤務中、留学費用を貯め、80年に米国コネチカット州立大学にて、Information Systemsを卒業。

82年よりソニーアメリカのカスタマーインフォメーションセンター現地採用。夕方にコロンビア大学院に通う。1985年中退し、ソニーアメリカも退職し、パリにて2年間国際交流NPOの一員として従事。

1987年に帰国し1992年までゴールドマンサックス証券会社Information Systems部のPVとして勤務。1993年から1995年NY本社赴任。

1995年、父から(株)マルチタスク・カンパニーの代取として就任し現在に至る。その間、米国・イスラエル等の海外技術Seedsの日本事業・組織開発や、日本企業の国内・海外事業・組織開発をサポート。

また、シミックグループ人事担当役員、子会社代取、米国企業ERT社の日本法人代取、アイロムグループ監査等委員取締役等の兼務。IRB委員13年目。

“技術・事業・人財シーズを併せて素晴らしい会社に育てるのが生きがいです！”。

近藤 晋

株式会社日本能率協会コンサルティング
R&Dコンサルティング事業本部 本部長
技術戦略センター センター長
シニア・コンサルタント



【略歴】

日本大学大学院理工学研究科機械工学専攻 修了
慶應義塾大学大学院経営管理研究科 修了
東京大学大学院工学研究科 MOTコース 単位認定

大成建設株式会社の機械部門を経て、株式会社日本能率協会コンサルティングに入社、現在に至る。NEDO SSAフェロー

【実績】

「事業成果につながる技術戦略の策定」をメインテーマとして、「技術棚卸」、「技術評価とコア技術設定」、「コア技術を起点とした中長期の技術・事業開発計画の策定」等のコンサルティングを自動車、機械、電機、精密、素材系企業など様々な業界で実施。また研究開発成果を起点とした新事業創出のコンサルティングについても多くの実績がある。

また、技術商業化のためのアクセラレーター“ACAT LLC”の運営も行っており、自身もスタートアップの立上げ及び運営を行っている。

【著書・論文】

「コア技術を活用した新規事業テーマの発掘、進め方」、株式会社技術情報協会、2018年(共著)
「技術の用途開発 ～テクノロジー・プッシュ型の新事業創造に関する研究～」第59回全国能率大会 表彰論文、2007年 他

【自己PR】

「あらゆる“技術”と“社会課題”を繋げる」を信条にこれまで様々な企業様のお手伝いをしてきました。優れた技術シーズを保有する皆様のご活躍が日本経済活性化のキーになると考えています。共に悩み、意見を戦わせ、新たな事業を成功させるご支援をさせて頂きたいと思っております。宜しくお願い致します。

三枝 裕和

SaiLogic株式会社
代表取締役社長



東京大学大学院経済学研究科(企業・市場専攻)修士課程修了。

株式会社日本総合研究所やPwCアドバイザリー合同会社で経営戦略立案、新規事業開発、事業再生など幅広くコンサルティングを経験した後、リクルートグループに入社。Webマーケティングの新規事業戦略担当マネージャーとして事業を推進。

現在はSaiLogic株式会社を立ち上げ、コンサルティングやベンチャー企業への出資・育成を手掛けながら、家業であるサエグサコオート工業を二代目として引き継ぎ、経営革新に日々取り組んでいる。

瀬川 秀樹

クリエイブル 代表



(株)リコーに長年勤め、光ディスクのフォトリソグラフィ技術者、光ディスクの国際標準化委員会(ISO)の日本代表団メンバー、技術企画、シリコンバレーにおけるCVC(Corporate Venture Capital)と新規事業の立ち上げ／撤退、新規事業開発センター副所長、未来技術総合研究センター所長などを歴任。

また、BOP(Base of the Pyramid(世界の貧困層))の project を立ち上げ、インドの農村部での活動も行ってきた。
常に新しいコトや多くの新規事業の立ち上げに挑戦し続けた。

2014年に(株)リコーを早期退職し、「新規事業のメンタリング」「若手育成」などを行う Creable(クリエイブル)を開設。多くのメンタリング・講演・研修・ワークショップ等を行っている。

イノベーションをキーワードにした4コマ漫画やコラムなどの執筆も行なっている。

世良 信一郎

株式会社イーフープ 代表取締役



上智大学法学部法律学科卒業後、大手特許事務所にて特許から商標まで知財全般を経験し、ベンチャー企業を対象とした知財コンサルティングに従事。

独立後は、慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス(SFC)、デジタルハリウッド、独立行政法人中小企業基盤整備機構、経産省の新事業創出のための目利き・支援人材育成等事業、神奈川県のかながわ成長産業イノベーション事業、NEDOカタライザーにて大学発ベンチャーをはじめとしたIT系、技術系ベンチャー企業を多数支援している。

直近では、ロボットベンチャー、まちづくり会社の新規事業立ち上げにも関わっている。

新規事業立ち上げ、知財戦略、資金調達／クラウドファンディング、まちづくり／地域活性に関する支援を得意としている。

能登 左知

株式会社カピオン 取締役



IM(インキュベーションマネジャー)として(独)中小企業基盤整備機構と東京都中小企業振興公社の起業支援の現場にて創業支援に過去10年間携わる。2011年(株)カピオン設立。

曾我弘氏と資金調達を目指すスタートアップ向けに支援プログラムを提供する。2016年からNEDO事業カタライザー就任、TCP,STISスタートアップ対象に資金調達支援を行う。

著書「新版シリコンバレー流起業入門」(同友館2013)、「シリコンバレー流CXOチームビルディング」(同友館2015)。得意分野はマーケティング、資金調達を目的とするプレゼンテーションの資料作成である。英語/日本語のプレゼンテーションアドバイスを過去多数通算2,000件実施する。

美大出身なのでグラフィックデザインスキルが高い。「私は技術系出身ではないので技術のことは詳しくありませんが、表現のプロです。伝えにくい技術についてわかりやすく表現する方法を具体的にアドバイスしたいと思います。」

Kansas City Art Institute, BFA学士インダストリアルデザイン学科卒業。

廣川 克也

一般財団法人SFCフォーラム 事務局長
SFCフォーラムファンド ファンドマネージャー



1993年住友銀行(現三井住友銀行)入行。1998年通商産業省出向、債務保証審査事業、全国新規事業発展基盤調査事業、起業家精神涵養教材開発事業等に従事。

2000年7月銀行復帰、成長企業取引推進担当となり、ベンチャー企業、株式公開志向企業に対する将来性評価による融資業務を担当。

2004年1月同行退職、同年2月より北海道大学知的財産本部着任。

2005年12月より慶應義塾大学湘南藤沢キャンパスインキュベーションマネージャーとして着任、起業家に対する事業計画作成、資金調達、販路拡大支援等を実施。

2008年4月よりKIEP研究コンソーシアム事務局長を兼任。海外学生ビジネスコンテストにアドバイザーとして参加、2009年、2010年にはGlobalTic@台湾でアジア最優秀賞、2009年I2P Global Competitionではチームを世界一に導く。

2012年より一般財団法人SFCフォーラム設立、事務局長就任。2017年よりSFCフォーラムファンド設立、ファンドマネージャー就任。山形大学客員准教授、(株)キングジム社外取締役など兼任。

前田 信敏

NV Ventures株式会社 代表取締役社長



早稲田大学政治経済学部経済学科卒業、早稲田大学大学院商学研究科ビジネス専攻修了(MOT/MBA)。

大和企業投資株式会社、ウエルインベストメント株式会社勤務を経て、2019年NV Ventures株式会社を設立。新エネルギー・産業技術総合開発機構事業カタライザー、文部科学省・大学発新産業創出拠点プロジェクト事業プロモーター、内閣府技術委員・アドバイザー、国立研究開発法人日本原子力研究開発機構イノベーション委員会委員等を歴任。大学発を中心とする研究開発型スタートアップの支援に注力している。

自己PR

『大学発スタートアップをはじめとする、革新的な技術力を持つ、シード・アーリーステージの研究開発型スタートアップに対する事業支援を長年行なっています。ベンチャーキャピタルの経験を活かした資金調達支援や、経営戦略立案支援が得意です。革新的な技術を活かし、スタートアップを立ち上げたい研究者や起業家の方の良きパートナーとして、会社立ち上げやシード資金の調達等のご支援をしたいと思います。どうぞ宜しくお願い致します。』

松田 一敬

合同会社SARR
代表執行社員



デジタル地域通貨プラットフォーム提供のDigitalplatformer共同創業者兼取締役。
世界標準のブロックチェーン開発のソラミツ共同創業者。産科遠隔診断のメロ
ディー・インターナショナル取締役。

2000年、北海道にて日本初の地方独立系VCである北海道VC設立。バイオ、遠
隔医療、自動運転&新交通システム、環境等のスタートアップを支援。我が国
の大学発ベンチャー第1号の設立、大学発ベンチャー上場第1号を手がける等
大学等の研究成果の事業化と地域活性化を得意とする。

2011年SARR設立、京都にてKRPと共同でアクセラレータ運営。DSファーマ・アニ
マルヘルス(株)と新規事業探索プログラムを運営(<https://sarr-llc.com/ah/>)。
シリコンバレー・イスラエル・インド・フランスを拠点とするBenhamou Global
VenturesにてJapan Advisory Partner。

神戸大学科学技術イノベーション研究科客員教授、文科省国立研究開発法人
審議会委員。JST・RISTEX「科学技術イノベーション政策のための科学」プログ
ラム・アドバイザー。NEDO技術員・TCP審査員、JAXA s-boosterメンター、総務
省SCOPE審査員・メンター、SMBC未来アドバイザー等を務める。
慶應大学(経)、INSEAD(MBA)、北海道大学(医学博士)。

<https://sarr-llc.com/> <https://digitalplatformer.co.jp/>

松永 淳

国立大学法人 筑波大学
国際産学連携本部 技術移転マネージャー
BellaDati PTE. LTD. 顧問



東京大学大学院工学系研究科化学エネルギー工学専攻修了。

富士フイルム(株)にて研究開発、技術戦略、ビジネス開発創出、CTO室の各部において実務とマネジメントに従事。VC、大使館商務部等との連携によるグローバル視点でスタートアップとの戦略的アライアンス(少額投資を含む)の切り口で新規ビジネス創出に関わった。

2015年4月から2019年3月迄、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)に出向し、研究開発型スタートアップ支援に従事。その間TCP、NEP、SUI、STS、SCA各プログラムの制度設計と実務を通して、多数のスタートアップに寄り添った。

2021年7月から国立大学法人筑波大学にて、「産」の事業ニーズと「学」の技術シーズとのマッチングによる技術移転活動を推進中。

2023年3月からBellaDati PTE. LTD. 顧問を兼務。

南方 郁夫

クラウド・テン株式会社 代表取締役



大阪大学 基礎工学部 情報工学研究科修了。

パナソニックで約30年間勤務。その間、本社R&D部門においてソフトウェアの研究・開発の責任者としてパソコン、EWS、ワープロ、デジタルTV、携帯電話などの事業化立ち上げを主導。国際標準化、国際コンソーシアムの創設やボードメンバーの経験も多数(DLNA、CE Linux Forum、Java Community Process、Marlin DRMなど)過去3回、合計8年間にわたってシリコンバレーでの駐在経験。

①UCバークレー EECS 客員研究員

②バークレーでの人脈がきっかけとなってシリコンバレーのスタートアップとEWS向けソフトウェアの共同開発

③米国パナソニックR&D会社のプレジデント。その間に、シリコンバレーでクラウドを活用したオンラインゲーミング事業を行う社内ベンチャーをシリコンバレーのリソースのみを使って起業

2011年末にパナソニックを退職してクラウド・テン株式会社を創業。

シリコンバレーの経験と人脈を活かして日本企業の新規事業創出やシリコンバレーの企業の日本戦略のコンサルティングを行うとともに、独自のクラウドサービスの開発、事業化に取り組んでいる。

八重樫 馨

i-BuC LLC CEO & President



ドイツの3大化学企業(Hoechst, BYAER, BASF) の一つヘキスト社(Hoechst, 現在、医薬部門は、Sanofi社、スペシャリティケミカルは、Clariant社、基礎化学は、Celanese社とし、それぞれ独立。)で、新事業開発、半導体用フォトレジスト(AZ Photoresist)の国産化、半導体製造用関連機器事業(Hewlett-Packardの技術を買収。)の立ち上げ、国産化、日本企業との共同事業設立等を行う。

その後、リチウム電池用セパレーター、人工心肺用中空糸、水処理用脱気膜の3事業部門を持つ米国Celgard Inc. (Polypore International Inc.へ社名変更を経て、後にセパレーター事業は旭化成、他は3Mに売却。)のマネジメント・チームとして経営に参画、日本法人セルガード株式会社設立、同社代表取締役社長兼務。リチウム一次電池向けセパレーターは当時世界一位、リチウム二次電池向けは世界二位の規模となる。世界最大の鉛電池用セパレーター企業Daramic Inc. をセルガードグループに迎え、同社のアジア・太平洋統括や、同グループ中国現地法人 Battery Separator Shanghai Co., Ltd. の取締役も兼務する。

2006年、シリコンバレーのナノテクベンチャー企業NanoGram Corporationの上席副社長および同日本法人ナノグラム株式会社の代表取締役社長に就任。無機系ナノ材料の事業開発においては、主にプリントエレクトロニクス分野、光学素子分野、また化合物系半導体用材料としての事業開発を行う。パナソニック、シャープ、帝人、DNP、リコー等の日本企業とも共同研究を進めナノ材料の商業化に貢献。同社を帝人株式会社へ売却後、帝人の依頼により、帝人グループのメンバーとしてシリコンバレーで同社の経営に携わる。

2010年に、日本の産業創成を少しでもサポートすべく、大手企業の新事業創造やベンチャー企業支援のために仲間と共にi-BuCを設立しCEO & President に就任する。その他、求めに応じて、神戸大学経営学部や東京農工大学大学院工学府で非常勤講師を務める。2016年よりTCPのメンター。

柳原 暁

Willsame株式会社 取締役



IT系企業を経て、スタートアップの立ち上げを経験。「Gamechanger's Studio」をコンセプトに掲げるイノベーションスタジオEDGEofにて、スタートアップや研究者、クリエイターといったイノベーターエコシステムをつくり、イノベーションを創出するハブとなる活動に事業統括として従事。大手企業、地方自治体とスタートアップの協業支援に従事。50社以上のスタートアップの事業開発支援、資金調達支援を行う。

大学発スタートアップの事業化並びに、知財、法務、資本政策に関する企業体強化の支援を通し、科学技術の社会実装に邁進するWillsame株式会社にて取締役を務める。

山田 竜也

株式会社インディージャパン
代表取締役テクニカルディレクター
INDEE Singapore Pte. 取締役



【支援内容&スタイル】

本プログラムに応募する方は、ユニークな技術や製品コンセプトを持っている方が多いと思います。そのユニークさを私自身のエンジニアとしての経験も活かしながら正しく理解する事から始めたいと思います。その上で、今度は顧客側の目線で見たらどんな価値があるか、誰がその価値を喜んでくれるか、顧客訪問やインタビューを繰り返しながら一緒に顧客を発見していきます。顧客への価値提案が定まったら、それをビジネスにするためのビジネスモデル作り、そして、ビジネスを具現化するための出口戦略(企業からの出資や業務提携、会社作り)等、顧客の発見から事業化までの一連の流れで各フェーズに合わせた支援をしていきます。大企業との接点も多いので、製造や販売のパートナー等でWIN/WINな関係作りも模索していきます。過去の経験からのアドバイスだけでなく、私自身、最先端の未知の領域を学びながら、価値あるものを世の中に普及させる仲間として協働していきたいので、まずは気軽にご相談ください。

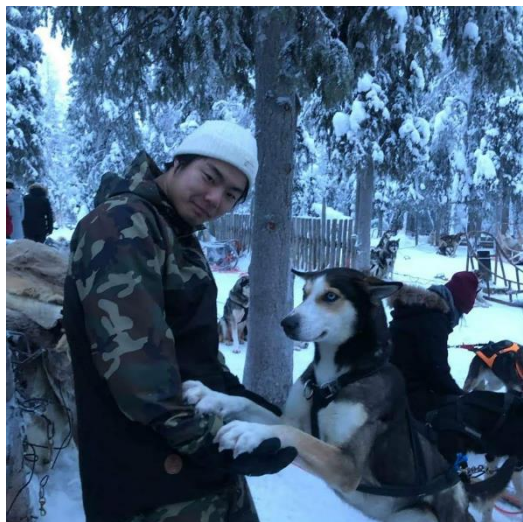
【略歴&実績】

電気通信大学 機械制御工学専攻卒。航空宇宙技術研究所(現JAXA)にてカオス理論を用いたCFDコード開発に従事。電通国際情報サービスにて各種製造業のR&D部門向けに構造・振動・流体等の受託解析を行う。R&Dに特化したコンサルファームiTIDにカーブアウトし、電動工具、複写機、半導体製造装置等の製品開発支援を製品コンセプト作りから、開発、試作、評価、初期流動まで一貫して行う。その後も大手製造業のR&D部門を対象としたコンサルティングを行い。大企業における製品開発の進め方の力学を理解し、製品開発を支援するファシリテーターとしてプロジェクトを支援する。インディージャパン 創業後は、イノベティブな新規事業をテーマに、金融、メディア、通信キャリア、医療サービス、エネルギー等にも範囲を広げ、顧客開発やオープンイノベーションを支援している。

海外旅行好きで世界60カ国以上を巡る。妻と子供の4人家族で現在バックパッカーは休業中。

横山 和輝

株式会社プロッセル 代表取締役CEO



1998年生、富山県出身、新潟市育ち。長岡工業高等専門学校卒業、同校専攻科修了する。

高専在学中のフィンランド留学をきっかけにスカウト型採用サービスProssell、オンラインビジコンを運営する株式会社プロッセルを2020年6月設立。

2020年8月には長岡市役所に入庁し2020年10月に新潟大学大学院に入学。

2021年5月にJ-StartupNiigataに選出。

2022年5月に一般財団法人高専人会理事に就任。

山本 辰久

ボーダレス・プランニング株式会社 代表取締役



境界にこだわらないボーダレスな視点から、医療、運輸、食品、製造、環境関連業界などで、新規事業計画立案・海外進出支援とともに、経営幹部育成に取り組む。

最近ではNEDO(TCP)、大手銀行グループ、電力会社、関西財界傘下組織等のスタートアップ支援プログラムにて、メンターを担当。

京都大学大学院工学研究科交通土木工学専攻修了。
ボストン大学大学院都市計画学科修了(MCP)。

横浜市役所都市計画局勤務の後、株式会社日本総合研究所で公的機関の主要計画立案・改革支援、企業の中期経営計画策定などとともに、ビジネスモデル特許申請も経験。この間、神戸大学大学院経営学研究科助教授として出向。

渡邊 貴史

セーフィー株式会社営業本部 部長補佐
第2ビジネスユニット 営業部 ソリューションセールスグループ
兼 経営企画部 IRグループ(CVC運用担当)

【略歴】

日系大手ITコンサルティングファームや日米のコンサルティングファーム、スタートアップ、ベンチャー企業経営等を経て、2022年9月より画像解析ソフトウェアハウスのセーフィーに入社。2023年2月よりCVC兼務。

その他、スタートアップの顧問/アドバイザーとして複数社の経営戦略支援(事業計画・資本政策・資金調達・営業・採用・労務・広報の各種支援)や行政機関の政策検討支援等も行っている。

【公務関連】

- 2022年5月 公益財団法人山形県企業振興公社メンター (現任)
- 2022年1月 一般財団法人沖縄ITイノベーション戦略センターアドバイザーフェロー (現任)
- 2020年7月 国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO) NEPカタライザー (現任)
- 2019年5月 中小企業庁スマートSME研究会委員

【講演】

- 2023年3月 札幌イノベーション政策勉強会～地域実情に即したスタートアップ支援政策実装論～
主催：札幌市
- 2022年12月 公民連携セミナー「ビジネス関係人口から見た山形県の課題とチャンス」主催：山形県
- 2022年8月 バイオ関連企業「稼ぐ力」向上応援プロジェクト 第3回「資本政策・投資家との折衝方法」～バイオベンチャーにおける資金調達と資本政策とインセンティブとexit～
主催：みらいおきなわ/沖縄県
- 2021年6月 「諏訪の可能性について」パネルディスカッション モデレーター 主催：関東財務局 松本事務所
- 2020年9月 第8回群馬活性化サロン 基調講演「成長企業を支えるためのファイナンスリテラシー」
主催：関東財務局 前橋事務所

